仙台市における物的流通関連事業所の分布

中 川 重

流通革新の一方としての、商取引流通と物的流通の分離にともない、とくに後者は、近年著しい変化を生じており、これに関連する事業所や施設の再編成や新しい立地動向が活発である。

筆者はこの一例として、仙台市における貨物自動車運送業と倉庫業の事業所（営業所、出張所等を含む）の分布を調べた。現在仙台市には貨物自動車運送業 122、倉庫業 58（44 年仙台市事業所統計調査対象名簿、業者組合名簿、電話帳によって確認、ただし個人営業を除く）の事業所が数えられる。その分布は、市街地部には少なく、市街地周辺とくに東部の国道 45 号線、市道元寺小路福室線及び県道清水小路多賀城線沿線に集中している。市街中心部の事業所は、貨物の取扱いを市街地周辺の営業所等へ移し、管理事務部門のみをもつものが多い。市・県道 2 沿線には、1965 年以前に仙台市中央卸売市場（1960.12 開設）、国鉄宮城野貨物駅（1961.6 営業開始）、仙台トラックターミナル（株）（1962.11 営業開始）が設置され、これらの周辺への営業所立地の一要因となった。さらに仙台バイパスの建設、開

通（苦竹以南 1966.4. 以北 1970.4 開通）は、流通関連事業所の市街地東部への立地の大きな誘因となっている。また仙台市は 1961 年 7 月に施行された「流通業務市街地の整備に関する法律」の指定都市となり、1970 年 10 月に完成した仙台卸商センターを中心に、倉庫団地（1970.11 協同組合結成）、トラックターミナル（計画未定）より成る総面積約 1.3km² の仙台流通センターの建設が進んでいる。この周辺にはほかに自家倉庫・配送センター・流通加工センター等の商社やメーカーの物的流通施設の設置も盛んである。

このように市街地東部に、流通関連事業所とくに物的流通施設が集中的に立地した、流通地区ともいえるべき新たな都市機能地域が形成されつつあるといえよう。しかし各事業所や施設相互の有機的關係はまだ弱く、地域的な流通機能の合理化という流通革新の一大目標には達していない。さらに詳細な分析とほかの都市機能地域との関連等については改めて報告したい。

（1970.12.25 受理）

文 献

佐藤林平（1965）：仙台の倉庫業の発展—宮城野貨物駅新設による影響—東北地理 17 214～218

Distribution of the establishments of Trucking and Warehousing in Sendai

Shigeru NAKAGAWA

Recently, the location behavior of establishments and facilities for "distribution of goods" has been rapidly changed. In the case of Sendai, the areal distribution of trucking and warehousing establishments is shown in the map. Many of them are located along the national highway Route 45 and other trunk roads near the eastern fringe of built-up area. Attracted by the Central Wholesale Market, Railway Freight Station, Truck-terminal and Sendai by-pass, all of which were constructed after 1960, "Sendai Distribution Center" including wholesale estate, warehouse estate and truck terminal is now in construction at the neighbouring area and the "distribution area of goods" is growing to play a role as a part of urban function.